

滋賀県立総合病院広報誌

# FACE

第3号

2022.5

生活習慣病  
克服への  
あくなき挑戦





栄養サポートチーム (NST) カンファレンス

年齢や所属の壁を越えて切磋琢磨しあえる  
多くの仲間がいることが励みになっています。

### 自己紹介

一山智病院長、外科の山本秀和副院長に続いて、内科副院長の山本泰三が登場することになりました。副院長は4名で、私は内科系全体の統括と入院診療を担当しています。

私は神戸生まれで、国際的に開かれた気風の中で育ちました。実家が日本茶や茶道具の小売りをしていたので、伝統的な食べものや手工芸品にふれあう機会も多くありました。人の役に立てる仕事がしたいという単純な動機で、医師を目指しました。自由な学風や旧制三校時代の寮歌である琵琶湖周航の歌にあこがれて、京都大学に入学しました。卒業後は内科全般を研修し、大学院では糖輸送担体の研究に従事しました。歴代教授である井村裕夫先生、清野裕先生、稲垣暢也先生を中心とするエキスパートの先生方から研究と臨床について指導を受けられたことが、かけがえのない財産となっています。大学院修了後は、勤務医として糖尿病を中心とした内科診療を30年来継続しています。



#### [副院長経歴]

#### 山本 泰三 (やまもと・たいぞう)

- 1984年 京都大学医学部医学科卒業
- 1991年 京都大学医学部大学院卒業  
倉敷中央病院、大阪北通信病院、京都桂病院等を  
歴任
- 2014年 滋賀県立成人病センター（現総合病院）糖尿病・  
内分泌内科科長
- 2021年 滋賀県立総合病院副院長